



<b>東京部会(第15回)</b>	
日時:	2008年9月24日(木)19:00-21:30
場所:	日本大学経済学部3号館(図書館)4階会議室
参加者:	加藤(日大)、中川(日大)、篠原(同志社大)、新井(都立西高)、杉田(千葉西高)、高橋(桜修館中等教育)、三枝(日黒中央中)、中沖(清水書院)、鬼塚(日本FP協会)、鈴木(日本経済教育センター)、宮尾(国際大) [順不同]
<b>【内容要旨】</b> <p>1. 最初に篠原先生からいくつかの報告があった。</p> <p>(1) 9月の年次大会でのシンポジウムは各方面で好評であった。今後も同様の取り組みを考えていきたい。</p> <p>(2) ワークショップについては、11月29日(土)に福井で開催することが決定し、中学教員を対象に、企業モデル(後述)とディスカッションを主な内容とする予定。</p> <p>(3) 11月26日(水)の岩手ではワークショップとは別の形で開催することを考えている。</p> <p>(4) 経済広報センターから共同で教材づくりの依頼を受けている。まず、企業モデルでやってみてはどうか。(ここまでの文責:加藤)</p> <p>2. 企業のモデルと経済の仕組みについて、篠原先生の講義の素案が、パワーポイントを使って紹介された。そのなかで、日本の豊かさの国際比較、市場での交換の利益、企業の生産プロセスと経済の仕組み、産業のあり方、市場と政府の役割などが取り上げられた。</p> <p>その上でのディスカッションで、講義において生徒の興味を引き付けるもの、また生徒に印象づけたいものをよく考えるべきという意見が出て、例えば、自動車(トヨタ)の生産プロセスを中心に据えたり、また身近な携帯電話から出発して企業の生産活動までたどっていくといった工夫はどうかといったサジェスションがあった。</p> <p>今回の議論を踏まえて、次回の東京部会までに、それぞれの立場からベストと思われる教え方、まとめ方を各自考えてくることとした。</p> <p>3. 個人会員入会申込書に書き込むべき情報についての再検討が行われ、連絡先の住所として、勤務先か自宅か(あるいはそれ以外か)のどちらかを書けばよいこととし、それが勤務先か自宅かなどをチェックさせることとした。</p> <p>4. 経済教育ネットワークのホームページ(トップページ)の再編について議論され、現行の右2列をまとめて1列として、上から「最新の活動報告」、「お知らせ」、「トピックス・レポート」の欄として、その下に「会員のログイン」と「メールマガジン」を並べることとなった。もし「新着プログラム」や「時事問題の解説」が更新された場合は、それを「お知らせ」の欄に載せてリンクし、また「プレゼン資料」や「書評」や「意見論文」などのコンテンツが出てきた場合は、「トピックス・レポート」の欄に載せることとなった。</p> <p>5. ホームページの「オープン討論室」で、大竹、宮尾、新井の三氏が議論している「市場競争のメリット」について、宮尾から説明があり、特に中学のレベルで経済の説明として市場や競争から始めて最適性や効率性といったメリットの議論にまでたどりつくのは難しいので、説明をある意味で逆にして、最初から何が最適か、どのような社会が望ましいかという価値、規範、倫理の問題から入ったほうが、いろいろと自由に議論ができて、学習指導要綱でも言及されている「効率」対「公正」を簡単な数値例などを使って直ちに取り上げることができるのではないかということであった。それに対して色々な意見が出て、今後とも議論を重ねることとした。</p> <p>6. 最後に新井先生から大阪での「夏休みの経済教室」で行った「経済の見解比較」の結果について、いくつかの興味ある結果、たとえば先生方の中に保護主義を支持する意見や大きな政府を支持する意見が思った以上にみられたことなどが報告された。これについても引き続き結果を検討することとなった。</p> <p>(文責:宮尾)</p>	
次回開催予定: 10月23日(木)19:00~21:00、日大経済学部3号館4階会議室 企業モデルと経済の仕組みの説明のさらなる検討が主要テーマである。	